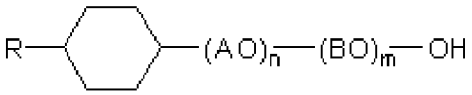
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成27年11月5日(2015.11.5)

【公表番号】特表2014-533753(P2014-533753A)
【公表日】平成26年12月15日(2014.12.15)
【年通号数】公開・登録公報2014-069
【出願番号】特願2014-541727(P2014-541727)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｇ　18/40　　(2006.01)
Ｃ０８Ｇ　18/48　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｇ　18/40
Ｃ０８Ｇ　18/48　　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成27年9月14日(2015.9.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２３】
従って、本発明の第１の目的は、
ａ）少なくとも１種のポリアルキレングリコール、および
ｂ）少なくとも１種のポリイソシアネート、および
ｃ）少なくとも１種の式（Ｉ）：
【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
水溶性のポリウレタンであって、
ａ）少なくとも１種のポリアルキレングリコール、
ｂ）少なくとも１種のポリイソシアネート、および
ｃ）少なくとも１種の式（Ｉ）：
【化１】



(I)

（式中、
ｍおよびｎは１５０未満の整数であり、その少なくとも１つはゼロではなく、
ＡおよびＢは互いに異なり、２から４個の炭素原子を有するアルキル基を示し、
Ｒは８から２０個の炭素原子を含有する、直鎖または分枝のアルキル基を示す。）
のモノマー
の縮合から得られる、ポリウレタン。

【請求項２】
ＡＯ基がエチレンオキシドを示し、ならびにＢＯ基がプロピレンオキシドを示す、請求項１に記載のポリウレタン。
【請求項３】
Ｒが９から１２個の炭素原子を有する直鎖アルキル基を示す、請求項１または２に記載のポリウレタン。
【請求項４】
ポリアルキレングリコールがポリエチレングリコールである、請求項１から３のいずれか一項に記載のポリウレタン。
【請求項５】
ポリアルキレングリコールが２０００ｇ／ｍｏｌから２００００ｇ／ｍｏｌの間のモル質量のポリエチレングリコールであることを特徴とする、請求項１から４のいずれか一項に記載のポリウレタン。
【請求項６】
ポリアルキレングリコールが８０００ｇ／ｍｏｌから１５０００ｇ／ｍｏｌの間のモル質量のポリエチレングリコールであることを特徴とする、請求項１から５のいずれか一項に記載のポリウレタン。
【請求項７】
ポリイソシアネートがトルエンジイソシアネートおよびその二量体および三量体、１，４－ブタンジイソシアネート、１，６－ヘキサンジイソシアネート、イソホロンジイソシアネート、１，３－および１，４－シクロヘキサンジイソシアネート、４，４’－ジイソシアナトジシクロヘキシルメタン、１－メチル－２，４－ジイソシアナトシクロヘキサンおよび１－メチル－２，６－ジイソシアナトシクロヘキサンとのそのブレンド、ヘキサメチレンジイソシネートのビウレットおよびその二量体および三量体ならびにこれらのブレンドの中から選択されることを特徴とする、請求項１から６のいずれか一項に記載のポリウレタン。
【請求項８】
水、少なくとも１種の請求項１から７のいずれか一項に記載のポリウレタンおよび少なくとも１種の界面活性剤を含有する水性組成物。
【請求項９】
殺生物剤、溶媒、消泡剤、ｐＨ調整剤、融合助剤またはこれらのブレンドの中から選択される添加剤も含有する、請求項８に記載の水性組成物。
【請求項１０】
構成要素の各々の重量％として表して、これらの％の合計は１００％に等しい、
１）５％から４５％の少なくとも１種の請求項１から７のいずれか一項に記載のポリウレタン、
２）５％から３０％の少なくとも１種の界面活性剤、
３）２５％から７５％の水、
４）０から５％の、殺生物剤、溶媒、消泡剤、ｐＨ調整剤、融合助剤またはこれらのブレンドの中から選択される、少なくとも１種の添加剤
を含有することを特徴とする、請求項８または９に記載の組成物。
【請求項１１】
水性配合物への増粘剤としての、請求項１から７のいずれか一項に記載のポリウレタンまたは請求項８から１０のいずれか一項に記載の組成物の使用。
【請求項１２】
水性配合物が、水性塗料、ラッカー、ワニス、紙塗工剤、化粧用配合物または洗剤配合物の中から選択される、請求項１１に記載の使用。
【請求項１３】
請求項１から１０のいずれか一項に記載のポリウレタンまたは組成物を含有する水性配合物であって、水性塗料、ラッカー、ワニス、紙塗工剤、化粧用配合物および洗剤配合物

の中から選択される、水性配合物。
【請求項１４】
請求項１から７のいずれか一項に記載のポリウレタンを調製する方法であって、前記ポリウレタンの異なる構成要素の縮合からなる、方法。